

科目名	ゼミナール1(演習)		科目ナンバー	CC-SE2251		
担当者 (実務経験名)	講師 久留島 彩織(地域スポーツ指導者)					
履修期	2年 前期			卒業単位	必修 1単位	
免許・資格						
授業概要	ゼミナール1:共通の目的:保育基礎1および2での活動をもとに、さらに保育者としての専門性を高め、幅広い人間形成を目指します。また、担当教員の専門性に触れ、新たな知識を収集し、専門的な思考や探求心を身につけます。 久留島ゼミの目的:乳幼児期の健康について、現代的課題を把握し、追究したいテーマを決め、深めていきます。様々な活動を通し、実践力を身につけます。					
到達目標	知識・理解	必要な情報収集を自発的にを行い、収集した情報(知識)を理解しまとめることができる。				
	思考・判断	収集した情報(知識)に基づき、自分の考えをまとめることができる。				
	興味・意欲・態度	新しい情報に対し、興味を持って追究できる。仲間とともに協力して行動できる。				
	技能・表現	調べた内容を、わかりやすい表現でまとめ、発表する力(伝える力)を身につける。				
授業計画	授業内容			事前事後学習内容		時間 (時間/週)
	1	オリエンテーション		シラバスを読んでおく		1
	2	1年間の計画		自己紹介の内容を考えてくる		1
	3	子どもをとりまく社会の課題について(調べる)		子どもの健康における課題についてまとめておく		1
	4	子どもをとりまく社会の課題について(発表、意見交換)		発表する内容を整理する。仲間の発表について理解する。		1
	5	保育現場で活用できるリズム体操創作①(構想)		ねらいやテーマ設定について考えておく		1
	6	保育現場で活用できるリズム体操創作②(創作)		幼児期にふさわしい動きの発見		1
	7	保育現場で活用できるリズム体操創作③(創作)		幼児期にふさわしい動きの発見		1
	8	保育現場で活用できるリズム体操創作④(創作、完成)		完成に向け、仲間とともに仕上げていく		1
	9	運動遊びまたは親子ふれあい体操の企画		活動計画を立てる		1
	10	運動遊びまたは親子ふれあい体操の準備①		必要な準備をする		1
	11	運動遊びまたは親子ふれあい体操の準備②		必要な準備をする		1
	12	運動遊びまたは親子ふれあい体操の実践(発表)		学びや気づき、反省等をまとめる		1
	13	実践(発表)の振り返りと意見交換		実践の振り返りについて発表できるよう準備をする		1
	14	リズム体操の撮影準備、作品練習		リズム体操の練習		1
	15	後期に向けて 研究テーマの検討		前期の学びを振り返り、研究テーマについて検討する		1
成績評価方法		知識・理解	思考・判断	興味・意欲・態度	技能・表現	評価割合
	筆記試験					
	レポート	○	○	○		10%
	課題	○	○	○	○	30%
	実技			○		30%
	受講状況・態度			○		10%
	その他(発表)			○	○	20%
フィードバックの方法	レポートや課題にはコメントを付けて、返却します。質問等については、全体に向けて共有・回答し、必要に応じて個別に説明を行います。					
教科書	なし。					
参考書	適宜紹介します。					
アクティブ・ラーニング	現代の子どもを取り巻く環境を知り、ゼミ内で検討し様々な運動遊びを提案します。また、実際に子どもや保護者と関わり実践を行うことにより専門性を高めていきます。					
ICT活用	リズム体操の創作時等で、iPadを活用します。					
メッセージ・備考	子どもたちが「楽しい」「もっとやりたい」と感じるような運動遊びについて共に考えましょう。地域の子どもたちと実際に触れ合う機会も検討しています。					
関連科目	保育基礎1、保育基礎2、ゼミナール2					